

富士ドライケムNX600の付属品
(富士ドライケムスライド Hb-WII)

再使用禁止

897N208312

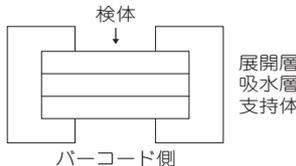
【禁忌・禁止】

使用方法

- 再使用禁止。[正しい測定結果が得られません。]

【形状・構造及び原理等】

富士ドライケムスライド Hb-WIIの構造は、図のようになっています。



富士ドライケムスライドHb-WII上に、全血10 μ Lを点着します。点着された検体は、展開層で均一に展開しながら、空気中の酸素によってオキシヘモグロビンに変化します。スライドは専用測定機内において、37 $^{\circ}$ Cで一定時間インキュベーション後、特定の波長で反射測光されます。反射濃度は、測定機内に内蔵された検量線により、ヘモグロビン濃度に換算されます。

ヘモグロビン+O₂ → オキシヘモグロビン

【使用目的又は効果】

本品は、乾式臨床化学分析装置に属するものであり、富士ドライケムスライドを使い、血液、尿を分析する医用検体検査機器の付属品(フィルム式反射測光計セル)

本品は全血中のヘモグロビン濃度の測定に使用される。

【使用方法等】

(スライドの準備)

使用時には必要枚数だけ冷蔵庫より取り出し、室温に戻してから個別包装を開封すること。また、開封したスライドは、速やかに使用すること。

(測定に必要な機材)

富士ドライケムスライドHb-WII

使用できる測定機：富士ドライケム生化学分析装置(測定波長540nm)

その他の器材：富士ドライケムQCカード(付属品)

富士ドライケムクリーンチップ又は富士ドライケムオートチップ

(使用方法)

付属品の富士ドライケムQCカードを専用測定機のカードリーダー部に読み込ませ、次いでQCカードに対応したスライドを専用測定機にセットします。自動点着又はマイクロピペットを用いたマニュアル点着により全血10 μ Lを点着します。一定時間後に測定結果が表示されます。

(測定範囲)

4.0~20.0g/dL(40~200g/L)

【使用上の注意】

- この電子化された添付文書以外の使用方法については保証を致しません。
- 検体はHIV、HBV、HCV等の感染の恐れのあるものとして取り扱って下さい。検査にあたっては感染の危険を避けるため使い捨て手袋を着用すること。
- 測定ごとに、1枚のスライドを使用します。血液などを一度点着したスライドは、再使用しないこと。
- スライド表面及び裏面の中央部には、直接手を触れないこと。
- 検体について
 - (1) 抗凝固剤
ヘパリン又はEDTA塩が使用できます。ヘパリンを使用するときは血液1mLあたり50単位以下、EDTA塩は10mg以下にすること。
 - (2) 妨害物質等
血中の蛋白量は8.5g/dLまでは影響ありませんが、それ以上では正誤差を与えることがあります。血小板は40 \times 10⁴/mm³まで影響ありませんが、それ以上では正誤差を与えることがあります。
- 測定結果に基づく臨床診断は、臨床症状や他の検査結果と合わせて担当医が総合的に判断すること。
参考基準範囲^[1]
男 13.5~18.0g/dL(135~180g/L)
女 12.0~16.0g/dL(120~160g/L)

- QCカードに磁石を近づけないこと。
- アルミ包装に破損がある場合は使用しないこと。
- 本製品を使用済み後、廃棄する場合は感染性産業廃棄物に該当しますので、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、焼却、熔融、滅菌、消毒等の処理をすること。また、委託して行う場合には、特別管理産業廃棄物処分の免許を持った業者に、特別管理産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて処理依頼をすること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法 未開封のまま、冷蔵庫(2~8 $^{\circ}$ C)で保管して下さい。

有効期間 製造後2年[自己認証(当社データ)による]

使用期限は外箱に記載してあります。

【主要文献及び文献請求先】

[1] 大久保昭行、齋藤侑也 監訳、臨床検査データハンドブック'86(医学書院)、90ページ(1986)

文献請求先

富士フィルム メディカル株式会社

TEL. 0570-02-7007 FAX. 03-5469-4190

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

富士フィルム株式会社

TEL. 0120-771669

販売業者

富士フィルム メディカル株式会社

TEL. 0570-02-7007